

登録コード	L2233200	開講年度	2026				
担当教員	磯部 美穂			副担当			
授業科目	ドイツ言語文化基幹演習						
英文授業名	German Language Culture: Specialized Study						
授業タイトル	ドイツ語学演習						
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	金曜・3時限
講義室	人文202演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー			他者の発表する内容を理解し、適切なコメントや質問ができるようになる。			
	【2022年度以前加付対象】グローバル社会において、多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる外国語能力			ドイツ語のもつ表現効果を客観的に分析し、自らの言語運用能力に応用できるようになる。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			他者の発表する内容を理解し、適切なコメントや質問ができるようになる。			
	【2023年度以降加付対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			ドイツ語のもつ表現効果を客観的に分析し、自らの言語運用能力に応用できるようになる。			
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	本授業は、基礎的なドイツ語の語彙や文法の習得を目標とし、ドイツ語で書かれた文献を精読しながら、ドイツ語の慣習について理解を深めていく。リヒャルト・フォン・ヴァイツゼッカードイツ連邦共和国第6代大統領の講演録を読みながら、ドイツ語の表現技法を分析し、なぜ彼の演説が人々を魅了するのか、議論していく。						
授業計画	授業の前半では、発表形式でレトリックの入門書を講読し、ドイツ語の表現技法について考察する。各項目の担当者は、レジュメを作成し、理解した内容を報告する。後半は、ドイツ語の演説テキストを読み、演説のドイツ語を分析していく。 第1回 ガイダンス（リヒャルト・フォン・ヴァイツゼッカーについて）・担当割り当て 第2回 発表：コミュニケーションの要素／信頼のコミュニケーション 第3回 発表：情意のコミュニケーション／理性のコミュニケーション 第4回 発表：コミュニケーションの構造／ジャンルとレトリック 第5回 発表：コミュニケーションの表現法／文彩 第6回 発表：統合のレトリック／分離のレトリック 第7回 発表：凝縮のレトリック／希釈のレトリック 第8回 精読 第9回 精読 第10回 精読 第11回 精読 第12回 精読 第13回 精読 第14回 精読 第15回 まとめ（確認テスト）、授業アンケート 受講者の習熟度によって進度を調整する。						
成績評価の方法	報告・発表60%、確認テスト40%の比率で総合的に判断する。						
成績評価の基準	設定したテーマに対して、適切に文献を探し出し、調査した上で、その内容を自分のことばで説明することができれば、かなり上にある。 専門的な知識を習得した上で、独自の問題設定ができれば、卓越している。						
事前事後学習の内容	基礎的な専門用語について、自ら知識を補い、理解を深めておくこと。 授業時間外に、予習や文献調査のための時間を十分に確保すること。						
履修上の注意	授業には目的を明確にし、積極的に参加すること。 ドイツ語学研究に関心をもち、高いドイツ語運用能力の習得を目指す者を対象とする。 履修する際には、学習目的・計画と合致するか十分に検討した上で受講すること。 他の受講生の学習を妨害するような行為をする者には、出席の停止を求めることがある。						
質問、相談への対応	メールにて対応する。メールアドレス isobe@shinshu-u.ac.jp						
教科書	『リヒャルト・フォン・ヴァイツゼッカー 早大講演「ヨーロッパの未来と日独関係」』（2007）朝日出版社，1800円。						

参考書	小松原哲太『概説レトリック表現効果の言語科学』ひつじ書房，2025年 佐藤信夫『レトリック感覚』講談社学術文庫，2009年 中嶋悠爾他『必携 ドイツ文法総まとめ』白水社，2003年 その他、適時紹介する。
-----	---